

寒くなってきましたね！スポーツに読書、食べものが美味しい秋も終わろうとしています。
裏面にも行事などを掲載していますので、是非ご覧ください。みなさんのご参加おまちしております。

11月
1日(日)
9:30~

主催 堅粕公民館
共催 自治協議会 各種団体

子どもは親子で参加！

ウォーキング大会

子どもさんと一緒に歩きますか？

*中学生以下は必ず保護者の方とご参加ください。

*運動のできる服装、タオル・飲み物・帽子等各自でご準備下さい。

☆お昼には炊き出しがあります。

☆完歩賞も用意してあります。

目的地では写真撮影、帰って来ても抽選会などがあり、子どもと一緒に楽しめるイベントです。



*雨天時は体育館でストレッチ体操とニュースポーツを実施

申込締切は10月24日(土) (※先着120組)

お申込み、詳細は堅粕公民館へ ☎473-6010

11月
12日(木)
19:00~

どうして部落差別が始まったの？ 逆転ってどういう事？
あなたが知っていることは間違いかも？
より多くの方が、正しい知識を持つことが、差別解消の近道です。

堅粕人権講話シリーズ第9弾

目から鱗！ 逆転の江戸時代から、部落差別《同和問題》の本質を考える

講師：福岡市立板付北小学校教諭

たかくら こういち
高倉浩一さん



場 所：堅粕人権のまちづくり館
3F 大ホール

11月
27日(金)
19:00~

いじめで自ら命を絶つ子どもたち
親として、友達として学校・地域として
どのように見守ればいいのか？

私たちに出来る事！親子で一緒に考えてみませんか？
子どもさんも一緒にどうぞ。

君をいじめから守る

子育て講演
& ひとり芝居

☆講師☆ 福永 宅司 さん



場 所：堅粕人権のまちづくり館
3F 大ホール

主催 ハーモニースクール
後援 教育対策部会

12月
5日(土)
14:30~

幼児から大人まで楽しめますよ♪
皆さんの参加をお待ちしています。

親子ふれあい X'mas コンサート

場 所：堅粕人権のまちづくり館
3F 大ホール

演奏
堅粕リトルベルズ (ハンドベル)
東光中学校 吹奏楽部・福岡高校 吹奏楽団



秋のポールウォーキング

ポールを使って、歩いてみませんか？

☆ 予約が必要です！先着20名

11月10日(火) 9:30～14:30

☆ 申込締め切り 11月2日(月)

◆目的地：福岡工業大学(キャンパス内)

◆集合場所：堅粕人権のまちづくり館

☆ポールを使用しますので、リュックでお越しください

◆高齢者乗車券 または 往復のJR代
560円が必要です。

※昼食は、現地でする予定です。
(自己負担 500円程度)



堅粕公民館 文化祭

作品展示 11月7日(土)～8日(日) 10時～16時

演技発表 11月8日(日) 13時～

公民館サークルの方々が日頃の成果を発表されます。

8日の演技発表会は、堅粕校区ハンドベルサークル「リトルベルズ」の演奏で始まり、様々な発表があります。気になるサークルがある方も是非行ってみてくださいね。



図書室のご案内

まちづくり館では、1F図書室に幼児・子ども向けの本をご用意しています。

貸出も行いますので、ご利用ください。

※貸出期間は2週間です。



敬老のふれあいコンサートが実施されました (堅粕地区の高齢者他 約130名が参加) 2015年9月12日(土)

堅粕記念会館で、東福岡高校 吹奏楽部の皆さんの演奏や松原校長先生による落語！民踊、フラダンスに健康体操など、盛りだくさんの内容で楽しく過ごして頂きました。落語の口演演目(斬)は「短命」で、初めてのご出演でした。

毎年開催されていますので、次回もお楽しみに！皆さまの参加お待ちしております。

堅粕の史跡めぐり

踏切番少女・お栄と新聞人・菊竹六鼓を結ぶもの(その1)

今から110年前、明治時代に堅粕で起こった鉄道事故のエピソードを紹介します。

明治23年～昭和38年の73年間、現在堅粕1丁目と2丁目を区切る道は、国道3号線と交差して鉄道(旧国鉄)が走っていました。旧博多駅の祇園町から水道局前～妙見～吉塚へ向かう旧鹿兒島本線です。

明治38年6月17日、堅粕(松園)第3踏切で踏切番をしていた少女が事故死しました。名は山崎栄。満10歳。お栄は堅粕の子で、この日は、母の三七日法事で踏切番の父親・姉が手を離せず、お栄が代わりを務め、夕刻線路を歩く人を助けようとして悲劇に会いました。

この踏切場所が、現在の堅粕2丁目交差点です(堅粕人権のまちづくり館から50m南)。身の危険もかえりみず、職務を全うしたお栄の行いに対して、当時の新聞記者：菊竹六鼓は「理想の死」と題し、称賛の記事を福岡日々新聞(現西日本新聞)に論説で発表しました。

曰く「(日露戦争の英雄)広瀬中佐、東郷大将をなさざりしことは決して福岡県民の恥辱に非ず。恨事には非ず。然れども、可憐なる勇敢なる一少女お栄を有したりしことは、永遠に我福岡県民の誇りなり。名誉なり。……」

東郷大将の日本海軍が対馬沖でロシア・バルチック艦隊を敗り、日本中が戦勝で沸き立ったのはこの事故のわずか一か月前。天下国家の議論よりも一人の見知らぬ少女の不幸な死を悼み、少女の存在を「福岡県民の誇りなり、名誉なり」と記した菊竹六鼓の勇気は、現代にも通じ、賞賛に値します。

この記事は、全国の心ある人々や民衆の心を打ちました。(次号へ続く)



お栄の事故現場付近
(現在：清水保育園前)



新聞記者時代の菊竹六鼓
(福岡日日新聞)